

平成28年度福島県献血推進計画 実績（抜粋）

（平成29年3月末現在）

第1 平成28年度に献血により確保すべき血液の目標量

1 献血により確保すべき血液の目標量

(1) 需要見込量

平成28年度の輸血用血液製剤は赤血球製剤112,000単位、血漿製剤43,700単位、血小板製剤116,000単位が必要と見込まれる。また、原料血漿は15,352リットルの確保が国から割り当てられている。

(2) 献血目標量

東北六県で必要とする血液（原料血漿を含む。）を各県で按分して確保するため、平成28年度に献血により本県において確保すべき血液の目標量を、200mL献血が600リットル、400mL献血が21,800リットル、血漿成分献血が3,234リットル、血小板成分献血が4,520リットルの計30,154リットルとする。

計画に対する実績（平成29年3月末現在）

200mL献血：	538.00L	達成率	89.7%
400mL献血：	21,905.20L	達成率	100.5%
血漿成分献血：	3,719.40L	達成率	115.0%
血小板成分献血：	5,025.80L	達成率	111.2%
合 計：	31,188.40L	達成率	103.4%

原料血漿確保量：67,351.93L 達成率 98.7%

* 原料血漿確保量及び達成率については、東北ブロックにおける実績

2 全血献血及び成分献血の実施方法

(1) 全血献血（200mL、400mL）

全血献血は、県内の各市町村を巡回する福島県赤十字血液センター（以下「血液センター」とする。）の移動採血車による確保を主体とする。血液センター（固定施設）においては、Rhマイナス型や緊急時の全血献血への対応と併せて、通常的全血献血、特に400mL献血の確保にも対応する。

計画に対する実績（平成29年3月末現在）

（単位：L）

	移動採血車 (市 町 村)	血液センター	合 計
目 標	18,592	3,808	22,400
全血献血量	17,750.2	4,693.0	22,443.2
目標達成率	95.47%	123.24%	100.19%

第2 前節の目標量を確保するために必要な措置に関する事項

1 献血に関する普及啓発活動の実施

(1) 献血推進キャンペーン等の実施

県は、特に必要性が高い400mL献血及び成分献血の推進及び普及のため、7月に「愛の血液助け合い運動」を、1月から2月までに「はたちの献血キャンペーン」を実施する他、血液の供給状況に応じて献血推進キャンペーン活動を緊急的に実施する。また、様々な広報手段を用いて、県民に献血への理解と協力を呼びかけるとともに献血場所を確保するため、関係者に必要な協力を求める。

愛の血液助け合い運動（7月1日から同月31日まで）

実施状況

- 県内13市において、街頭献血キャンペーンを次のとおり実施した。

(人)

月 日	市 名	献血者数	200mL	400mL
7月 3日 (日)	福島市	99	4	95
7月 7日 (木)	白河市	163	24	139
7月10日 (日)	南相馬市	136	2	134
7月10日 (日)	会津若松市	54	0	54
7月11日 (月)	相馬市	74	5	69
7月17日 (日)	郡山市	75	7	68
7月17日 (日)	喜多方市	91	7	84
7月18日 (月)	本宮市	109	7	102
7月24日 (日)	二本松市	108	9	99
7月24日 (日)	いわき市	179	10	169
7月28日 (木)	田村市	102	2	100
7月29日 (金)	伊達市	179	8	171
7月31日 (日)	須賀川市	107	4	103
計		1,476	89	1,387

はたちの献血キャンペーン（平成29年1月から同年2月まで）

実施状況

- 市町村等関係機関に対して、文書等による事業の協力依頼を行った。
- ポスターを市町村、高等学校、福島県献血推進協力会等に配布した。
- ラジオの県政広報番組や新聞を活用した広報を行った。

(2) 若年層の献血への理解を深めるための普及啓発

県、市町村及び血液センターは、地域の実情に応じて、若年層の献血への関心を高めるため、学校等に対して、ボランティア活動である献血について情報提供や学生献血推進ボランティア等の同世代からの働きかけの支援を行う。

実施状況

- 平成28年7月4日に開催された県立学校長会議（県立高等学校長及び県立特別支援学校長）において、県及び血液センターから、献血の現状と若年層への献血推進の重要性を説明し、献血に触れ合う機会等への協力を依頼した。
- 平成28年9月13日（いわき地区）、14日（相双地区）、16日（会津、南会津地区）に開催された健康教育推進者研修会（小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の養護教諭）において、昼食時間を活用し、血液センターから献血についての説明と、各学校における献血セミナー開催のお願いをした。
また、「ありがとう！っていっぱい言わせて（アンパンマンのエクス）～小児ガンの男の子の闘病記録～」DVD上映を行った。

2 献血功労等の顕彰

(1) 県は、献血事業に功労のあった団体又は個人に対して福島県知事感謝状を贈呈する。

実施状況

- 平成28年10月18日に杉妻会館で行われた平成28年度健康ふくしま21推進県民表彰式において、献血事業功労知事感謝状を12団体に贈呈した。
 - 日東通信機株式会社福島工場 (福島市)
 - 株式会社阿部紙工 (福島市)
 - 西濃運輸株式会社福島支店 (福島市)
 - 株式会社ヨークベニマル棚倉店 (棚倉町)
 - 株式会社テクニカルタテノ福島工場 (棚倉町)
 - 日立オートモティブシステムズハイキャスト株式会社福島工場 (棚倉町)
 - 会津乗合自動車 株式会社 (会津若松市)
 - 株式会社IHI 航空宇宙事業本部相馬事業所 (相馬市)
 - オリエンタルモーター株式会社相馬事業所 (相馬市)

10	東北電力株式会社総合研修センター	(南相馬市)
11	陸奥テックコンサルト株式会社	(郡山市)
12	大和電設工業株式会社福島支店	(いわき市)

(2) 県は、各市町村の協力を得て、国が開催する献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰等に対し、積極的に該当団体等を推薦する。

- 第52回献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰状候補者として2団体、同感謝状候補者として8団体を推薦し、受賞した。
なお、平成28年7月28日に福島県赤十字血液センターにおいて表彰等の伝達式を行った。

1 厚生労働大臣表彰状 (2団体)

大内新興化学工業株式会社 須賀川工場 (須賀川市)

独立行政法人国立高等専門学校機構福島工業高等専門学校 (いわき市)

2 厚生労働大臣感謝状 (8団体)

MGCエレクトロテクノ株式会社 新白河工場 (西郷村)

矢吹精密宝石株式会社 (矢吹町)

高田産商株式会社 (棚倉町)

棚倉町商工会青年部 (棚倉町)

東京電力パワーグリッド株式会社 猪苗代電力所 (会津若松市)

松本機械工業株式会社 (喜多方市)

株式会社 日立パワーデバイス (南相馬市)

株式会社鹿島ショッピングセンター エブリア (いわき市)